

第2回草津市総合計画審議会における
主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応

→は審議会後の事務局対応

主な意見	対応
【(1) 第5次草津市総合計画の総括評価について】	
<p>●2 ページのグラフ「総合的に住みやすいまちである」の評価について、お住まいになっている年月の違い、性別や年代などクロス集計を行い分析したほうが、6次総合計画に生かせるのではないかと。事務局が持っているデータでは、男女別でも世代別でも大きな差がないとのことであったが、言い換えると、多くの方に同様の傾向が出ているということであり、重要な数字であるので、特徴的なデータについては総括の中で掲載してはどうかと思う。</p>	<p>→<u>将来ビジョンの検討資料内にクロス集計の特徴的な結果について記載しました。</u></p>
【(2) 第6次草津市総合計画 基本構想前段部分(案)について】	
<p>● 多彩な魅力を感じられるまちとあるが、JRが中心になって何の魅力も感じない。草津駅や南草津の駅を中心にまちが構成されているというこれほどこもそうだが、駅を中心にまちを発展させるものなのではなく、もっと違う何か魅力的なことを書けないか。</p> <p>● 地域の特性のところ(1)位置と地勢 (2)地域の特性という記載になっており、前回のものを見ると「自然・文化・躍動」という言葉でまとめてある、今回は、非常に硬い、少し柔らかみがないという印象を受ける。</p>	<p>○ 駅周辺の市街地整備を中心に草津市が発展してきたという経緯があるのでこのような記載をしておりますが、検討いたします。</p> <p>→ <u>御意見を踏まえて、「多様な魅力を感じられるまち」の内容を追記しました。</u></p>
<p>● ハード的なことが多く書かれているが、ソフト的な部分が書かれていない。例えば、市民活動で実際どんなことがされているのか、どんな分野でどういう活動をされている方が多いのかなど、また、子ども向け、年配の方、中間層のこれぐらいのソフトとハードがどのくらい連携されて生かされているかなどの記載。ハードを使って生かしている人がいるということで、ここって住みやすい社会なんだなと感じるので、ソフト的な特徴が見れる視点も盛り込まれたらいいのかなと思う。</p>	<p>→ 「<u>社会情勢の変化について</u>」の「<u>地域コミュニティの拡充に向けて</u>」に市民活動等の内容を記載しました。</p>